

事務事業名	幡屋地区基幹農道整備事業負担金		所属部	建設部	所属課	農地整備課
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	農業用施設整備G	課長名 保科 浩二
	施策名	〈34〉農業の振興		担当者名	菅澤 直樹	電話番号 0854-40-1068 (内線) 2402
	目的対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。		
	基本事業	〈097〉農業基盤の整備・保全		予算科目	会計 0:130:0:6 項目 0:565:3:5	大事業名 県営農道整備事業 中事業名 基幹農道整備事業負担金
目的対象	担い手農家をはじめとする農家	意図	働きやすい環境で、農業の生産性が維持・向上する。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
農業者及び農道利用者	農産物の輸送が効率的になるとともに、安心安全な通行ができる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H23 年度 ~ R5 年度)	■ 内 容 : 農業生産の近代化及び農業生産物等の流通の合理化を図るとともに農村地域の生活環境の改善を図り、基幹的な農道の整備を目的としている。 ■ 負担率 : 国50%、県40%、市10%(基幹農道整備事業 一般型) ■ 事業箇所 : 幡屋地区(延長;2,292m、幅員;5.5(7.0)m、受益面積;180ha) ■ 総事業費:2,398,792千円
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
■ 県及び関係機関、受益者との協議・調整 ■ 負担金の支出 ※事業完了	特になし

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
ア 事業進捗率(事業費)	%	89.5	97.6	100.0	
イ 供用延長(累計)	m	0.0	550.0	2,292.0	
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)		② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
【県営事業】		財源内訳	国庫支出金	千円				
■ 事業費 : 58,000千円			県支出金	千円				
■ 市負担金: 5,800千円(負担率10%)			地方債	千円	44,700	19,300	5,800	
■ 充当起債: 過疎債			その他	千円				
			一般財源	千円				
		事業費計	千円		44,700	19,300	5,800	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	事業完了により、農産物の効率的な輸送や安心・安全な集落間の往来が可能となった。
② 事業実施するうえでの課題	県営事業につき、島根県の事業計画に沿った地元調整が必要であった。
③ 課題解決に向けた改革改善等	県との連携による円滑な事業推進に努め、令和5年度にて事業が完了した。